

2020年11月11日

各位

会社名 ブティックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 新村 祐三
 (コード番号 9272 マザーズ)
 問合せ先 常務取締役管理本部管掌 速水 健史
 (TEL 03-6303-9431)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

ブティックス株式会社（東京都港区、代表取締役社長 新村祐三 以下「当社」といいます）は、2020年5月13日「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました2021年3月期通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正理由

当社は、前回の業績予想策定時において、新型コロナウイルス感染症は第1四半期会計期間末までに概ね収束し、第2四半期会計期間以降は業務運営が正常化することを前提としておりました。このような中、M & A仲介事業においては、感染症の影響は一時的なものに留まり、今後も業績が順調に推移する見込みですが、商談型展示会事業においては、感染症の影響で、出展を自粛する企業が現在も継続しており、同様の状況が今後も続くものと想定しております。このため、売上高が減少し、前回業績予想を下回る見込みです。

また、「3. セグメントごとの見通し (3) 追加投資の実施」に記載のとおり、当事業年度において、来年度以降の業績拡大のため、人材採用・システム開発を柱とした、大幅な追加投資（先行投資）を実施いたします。

これらによりまして、営業利益、経常利益、当期純利益につきまして、前回業績予想を下回る見込みです。

2. 業績予想（修正あり）

①2021年3月期の売上高・営業利益の予想（追加投資前と追加投資後）

	売上高	営業利益① 追加投資 実施前	追加投資	営業利益② 追加投資 実施後
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期 見通し	1,139	152	△71	81
2020年3月期 実績	1,358	187	—	187
増減率 (%)	△16.2	△18.4	—	△56.7

②2021年3月期通期業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,388	221	220	153	61.00
今回発表予想 (B)	1,139	81	91	61	24.64
増減額 (B-A)	△248	△140	△129	△91	
増減率 (%)	△17.9	△63.3	△58.7	△59.9	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	1,358	187	188	130	53.03

3. セグメントごとの見通し

セグメントごとの見通しは以下のとおりです。

(1) 商談型展示会事業

商談型展示会事業につきましては、前回の業績予想策定時において、第2四半期会計期間以降は営業活動が正常化することを前提としておりましたが、感染症の影響で、出展を自粛する企業が現在も継続しており、同様の状況が今後も続くものと想定しております。このため、当初想定していた出展小間契約の獲得が出来ず、売上高が前回業績予想を下回る見込みです。

一方で、「CarreTEX365 オンライン」につきましては、マッチングの機会を必要とする介護事業者と介護関連サプライヤーから高い評価をいただき、順調に推移しております。当該事業の売上高及びセグメント利益につきまして、前回の業績予想策定時には織り込んでいないため、商談型展示会事業の減収及び減益分を一定程度補完するものと見込んでおります。

以上の結果、商談型展示会事業の売上高は600百万円（前事業年度比22.5%減、前回発表予想比30.4%減）、セグメント利益は60百万円（前事業年度比78.5%減、前回発表予想比75.0%減）を見込んでおります。

(2) M & A 仲介事業

M & A 仲介事業につきましては、介護報酬改定や人材採用難に対する危機感の高まり等により、M & A ニーズが引き続き増大しており、案件の流入も順調に推移しております。また、前事業年度からの課題であったM & A コンサルタントの教育体制の整備や仕組化が概ね完了し、成約組数も前事業年度比で増加する見込みです。

以上の結果、M & A 仲介事業の売上高は525百万円（前事業年度比45.6%増、前回発表予想と同額）、セグメント利益は274百万円（前事業年度比38.5%増、前回発表予想比6.7%減）と増収増益を見込んでおります。

(3) 追加投資の実施

当社は、今回の新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、社会やビジネス環境が大きく変容していくものと考えております。この変化に迅速に対応するとともに、むしろこの変化を好機ととらえ、中長期的に業績を拡大するために、以下のとおり、追加投資を実施いたします。

商談型展示会事業につきましては、感染症拡大による社会変容を背景に、オンライン展示会の需要が増加しており、災害等のイベントリスク回避策としてのみならず、今後もオンライン展示会の需要がますます拡大していくものと認識しております。当社としては、当第2四半期累計期間において、オンライン展示会のマネタイズが概ね完了したことから、オンライン展示会事業に集中的に投資する方針です。具体的には、当事業年度において、オンライン展示会の自社システム開発、及び人材採用のための追加投資を行います。

M & A 仲介事業につきまして、介護業界のM & Aニーズは引き続き増大しており、案件の流入も順調に推移しております。このような中、4月からの新体制により、M & Aコンサルタントの教育体制の整備や仕組化が概ね完了し、未経験人材でも短期間に戦力化し、採用加速で大幅な売上増加が見込める体制が整ったことから、人材採用に集中投資する方針です。具体的には、当事業年度において、M & Aコンサルタント採用のための追加投資を行います。

当事業年度における投資総額は、人材採用（20名を追加採用。人件費・採用費を当事業年度の費用として計上）に71百万円、システム開発に30百万円を予定しております。

これらの取り組みにより、2021年3月期通期の業績の見通しは、商談型展示会事業の減収等により売上高1,139百万円（前事業年度比16.2%減、前回発表予想比17.9%減）、追加投資実施前の営業利益は152百万円（前事業年度比18.4%減、前回発表予想比31.0%減）、追加投資として人材採用に71百万円を投資することから、追加投資実施後の営業利益は81百万円（前事業年度比56.7%減、前回発表予想比63.3%減）、経常利益91百万円（前事業年度比51.7%減、前回発表予想比58.7%減）、当期純利益61百万円（前事業年度比53.0%減、前回発表予想比59.9%減）を見込んでおります。なお、システム開発については、資産計上のため、投資に係る減価償却費を計上いたしますが、当事業年度の業績に与える影響は軽微です。

（注）上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、実際の業績は上記の予想とは異なる場合があります。

《本リリースに関するお問合せ》

ブティックス株式会社 管理本部 IR 担当

TEL : 03-6303-9431（平日9時～18時） Email : ir@btix.jp

以上